

令和3年度 関東ブロック 災害復旧事業技術講習会

わが国は、台風の来襲と地球温暖化による異常気象により大規模な風水害と、更に地震や火山噴火等による災害が毎年のように多数発生しています。平成 23 年の東日本大震災は、大きな地震と津波により多くの尊い人命・財産が失われ未曾有の大災害となりました。

その後も、平成 26 年の長野県北部地震、広島県土砂災害、御嶽山噴火、平成 27 年の関東・東北豪雨による鬼怒川決壊、平成 28 年の熊本地震、東北、北海道の豪雨被害、平成 29 年の九州北部豪雨被害、平成 30 年の西日本豪雨被害、北海道胆振東部地震、令和元年は、台風 15 号による千葉県を中心とした長期間に及ぶ大規模停電被害や、東日本台風による関東甲信・東北での河川の氾濫と甚大な災害が毎年発生しました。更に昨年は、令和 2 年 7 月豪雨により、熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で発生した集中豪雨により多数の河川が氾濫・決壊し、大規模な被害が発生しました。

公共土木施設は、国土を保全し、生命財産を守る重要な施設であり、これらの施設災害は国民の生活や社会経済の重大な影響をもたらす、被災施設の早期復旧を図る必要があります。

このような状況に対応し、災害復旧事業の各種申請資料を検討・作成する際に必要な災害復旧事業の技術・制度等についての理解を深めるため、これらの業務に携わる関係者を対象とした災害復旧実務についての技術講習会を開催いたします。

主 催	一般社団法人 関東地域づくり協会 公益財団法人 とちぎ建設技術センター
共 催	一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 関東支部 一般社団法人 全国測量設計業協会連合会 関東地区協議会・東京地区協議会 一般社団法人 関東地質調査業協会
後 援	国土交通省 関東地方整備局 栃木県(予定) 公益社団法人 全国防災協会(予定)
日 時	令和3年10月22日(金) 10:00~16:15(予定) (受付開始 9:30~)
会 場	赤羽会館 講堂 東京都北区赤羽南1-13-1
締 切 り	令和3年9月10日(金)
定 員	300名 (定員になり次第締め切ります)
申 込 方 法	定員となりましたので受付は終了しました。

受 講 料 無料

問 合 せ 先



関東ブロック災害復旧事業技術講習会 開催事務局
一般社団法人 関東地域づくり協会 野橋
〒 330-0843 さいたま市大宮区吉敷町4-262-16
TEL 048-600-4192

C P D 土木学会継続教育CPD
(一社)建設コンサルタンツ協会認定CPD
(一社)全国測量設計業協会連合設計CPD(継続学習制度)
(公社)日本測量協会認定測量系 CPD
(一社)関東地質調査業協会CPD

カリキュラム

時間	講義内容	講師
9:30～	受付	
10:00～10:10	開会の挨拶	一般社団法人 関東地域づくり協会
10:10～10:40	災害復旧事業制度	国土交通省 水管理・国土保全局 防災課 総括災害査定官 成田 秋義 氏
10:40～12:00	災害復旧事業の基本原則	国土交通省 水管理・国土保全局 防災課 災害査定官 原田 隆二 氏
13:15～14:15	災害復旧事業における留意事項	(公社)全国防災協会 災害復旧技術専門家 戸倉 健司 氏
14:15～15:05	令和元年度東日本台風における栃木県の被災状況と県の取り組み	栃木県 県土整備部 河川課 県土防災対策班 災害チーム課長補佐 渡辺 明恵 氏
15:15～16:05	関東地方整備局の災害対応	国土交通省 関東地方整備局 災害対策マネジメント室長 中谷 文治 氏
16:05～16:15	閉会の挨拶	公益財団法人 とちぎ建設技術センター

※新型コロナウイルス感染予防のため、受講者はマスクの着用をお願いいたします。

※当日、各自検温を行ったうえで、37.5度以上発熱のある方又は咳の出る方は参加を取りやめてください。

※募集人員は会場の定員約600名の2分の1とさせていただきます。

※会場内は水分補給以外の飲食は禁止となっております。

会場案内図



交通: JR 赤羽駅東口(京浜東北線、埼京線、高崎線、宇都宮線) 徒歩約5分
地下鉄南北線赤羽岩淵駅 徒歩約10分